

## マルチ・スズキ、グジャラート州シタプールに ザイダス・ホスピタル社と提携し総合病院を開設



- アーメダバードのハンサルプール、シタプール地域周辺で初の総合病院
- ベチャラジ、シタプール、マンダル、メーサナ、パタン、ヴィラガムおよびその周辺地域に居住する約37万5千人に利益をもたらす
- 現在、地域の患者の治療を支援するため、コロナケア施設として使用

マルチ・スズキ・インドアは、ザイダス・ホスピタル社と提携し、グジャラート州アーメダバードのシタプールにおいて総合病院の開設を発表した。総投資額は12億6千万ルピーで、この病院はマルチ・スズキのCSRを行うマルチ・スズキ財団が100%出資している。同病院は、ザイダスグループのCSRを行うラーマンバーイ財団によって管理・運営される。同病院では、新型コロナウイルス患者の治療も支援し、感染拡大対策を強化している。

マルチ・スズキの鮎川堅一社長兼CEOは、「グジャラート工場が稼働した当時、この地域に大きな病院はなく、すべての地域住民の利益のため、良質な総合病院の建設を決め、医療分野において名の知れたザイダス・ホスピタル社と提携しました。新型コロナウイルスの第二波のタイミングと重なり、コロナケア施設に改装することで、感染拡大との闘いを支援します。このプロジェクトを立ち上げるにあたり、グジャラート州政府及びアーメダバードの地方自治体の支援に感謝申し上げます。」と述べた。

この病院は、シタプールおよび隣接する村に住む37万5千人以上の人々に手頃な料金でサービスを提供することを見込んでいる。当初は50床の施設から始め、需要に応じて100床まで段階的に拡張することができる。施設拡張のためのインフラはすでに整備されており、7.5エーカー（約3万㎡）以上に広がるこの施設は、この地域で初めての超専門的なサービスを提供している。

### 病院の特徴

- 24時間・365日体制の救急・外傷、高度診断、救命救急、眼科、熱傷、耳鼻咽喉科、内科、循環器内科、総合医療などのサービスを提供するスーパー専門病院
- ザイダス・ホスピタル社に採用され、訓練を受けた有資格かつ経験豊富な医師による管理
- ジム、カフェテリア、ショップ、図書館、庭園などを完備した、病院の運営管理に従事するスタッフのための160人分の寮と20戸の2-BHKの平屋を持つ総合住宅施設